



令和3年6月16日
国土交通省東北地方整備局
新庄河川事務所
戸 沢 村

地域住民と『まるごと里ごとハザードマップ』を作成

～地域防災力の強化に向けた取り組み～

近年、局地的な豪雨や台風等により、全国各地において土砂災害等が頻発しています。

新庄河川事務所では、これらの自然災害から身を守るための取り組みの一つとして「まるごと里ごとハザードマップ^{※1}」の作成を進めています。

今回は「避難のタイミングなどの意思決定訓練」を、地域住民、大学の学識者、戸沢村等と合同で行います。

地域の住民自らが危険箇所を確認し、土砂災害から身を守るための行動が速やかにとれることを目的に、戸沢村滝ノ下地区において令和2年度から「まるごと里ごとハザードマップ^{※1}」の作成に取り組んでいます。

今回は、昨年度に検討した避難経路や避難方法、自主避難判断基準や避難情報発令時の行動を確認するための意思決定訓練を地域と学・官が連携し行います。

記

■実施内容：避難のタイミング、行動等に関する意思決定訓練

日 時：令和3年6月20日（日） 8:30～11:30

場 所：滝ノ下公民館（山形県最上郡戸沢村大字角川 260-7）

■参加人員：戸沢村滝ノ下地区町内会、大学及び行政関係者 40名程度

（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで行います。）

※1) 国土交通省では、平成18年7月から生活空間である市街地に水災にかかる各種情報を洪水関連標識として表示する「まるごとまちごとハザードマップ」を推進しています。これを基に新庄河川事務所では、土砂災害版として（仮称）「まるごと里ごとハザードマップ」と呼び、避難誘導標識の他に手作りの避難経路図の作成に取り組んでいます。

<発表記者会> 山形県政記者クラブ、新庄新聞放送記者会

問い合わせ先



国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

〒996-0071 新庄市小田島町 5-55 TEL 0233 (22) 0262

副所長（砂防） 木村 晃（内線 205）

調査課長 土門 弘和（内線 351）



戸 沢 村

〒999-6401 最上郡戸沢村大字古口 270 TEL 0233 (72) 1111

総務課 危機管理室 危機管理室長 小林 直樹

「まるごと里ごとハザードマップ」作成の取り組み (戸沢村 滝ノ下地区)

今回の実施内容

- ・自主避難判断基準や避難情報発令時の行動を確認するための意思決定訓練



※写真は他地域での事例

※庄内町木の沢地区での作成例



令和2年度の実施内容

- ・まちあるきと現地情報図の作成
- ・避難経路や避難方法などの図上検討会
- ・避難時ルール等の検討会



まちあるきで、危険箇所、避難経路、避難場所等を確認



安全な避難経路や避難方法、避難する際の連絡体制や避難の基準、避難時のルールを検討